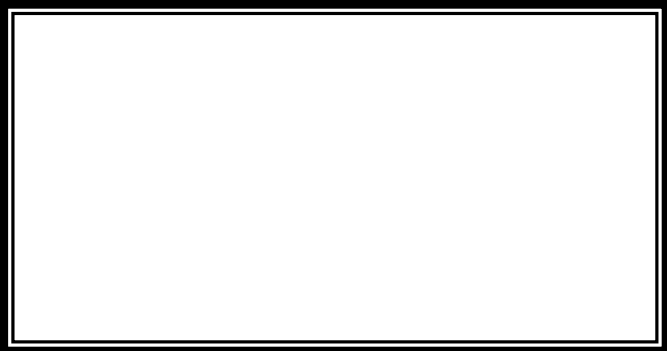


宛先



ニューズレター

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

No. 78

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/lora/index.html>

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/ialt/index.html>

平成26(2014)年9月19日

水専門部会

特別講演会 & 現地見学会報告

平成26年7月11、12日の両日にわたり、低平地研究会水専門部会による主催、日本水環境学会九州沖縄支部および佐賀大学低平地沿岸海域研究センターとの共催により、水辺環境に関わる講演会と現地見学会を実施しました。

特別講演会には30名、見学会には13名の参加者を得ました。講演および現地説明の講師には、九州大学大学院農学研究院・鬼倉徳雄先生をお招きし、九州の淡水・汽水域の生態系の現状についてわかりやすくご講演いただきました。講演では、佐賀平野のクリークに生息する絶滅危惧種・カワバタモロコをはじめとした種々の魚類生息の現状と人為的な影響を指摘されました。また、翌日の現地見学会では、鬼倉先生の投網で捕獲したアリアケスジシマドジョウや金色のカワバタモロコを直に観察し、参加者一同、驚きの連続とともに、水辺環境を再度考える良い機会を得ることができました。



平成26年度第1回月例勉強会の開催

7月24日(木)、藤邦広氏(佐賀県県土づくり本部企画・経営グループ副課長)に「クリークの法面対策について」という話題を提供いただきました。佐賀平野のクリークは総延長が約1,500kmもあり、農業用水の供給のみならず、高い防災効果も期待されています。他方、クリークの保守整備が間に合わず、法面の崩壊などが発生し、早急な対策が必要とされていることが説明されました。また、現在の保守・改修整備方法についても説明があり、堤防の除草に関する近隣住民の参加や、木材利用といった法面の保護手法について質疑が交わされました。



地域デザイン専門部会

環アジア国際セミナー - グローバル社会における文化多様性と歴史的環境の保全活用 -

7月31日から8月4日にかけて、佐賀県鹿島市肥前浜宿で環アジア国際セミナーを行いました。日本・韓国・タイ・カザフスタンから建築・都市デザインを学ぶ40名の学生が参加し、英語によるコミュニケーションに苦勞しながらも建築・都市デザイン特有の技術であるスケッチ等を交えることにより、対象地に対する提案作成にグループで取り組み、英語で発表しました。地元の住民も含めた、合計120名の参加者を得て、地域課題の解決に向けた議論を行いました。



低平地研究に関する豆知識 -その15-

水循環基本法

水循環基本法が紆余曲折を経て2014年4月2日に公布されました。わが国では初めての「水」に関連する基本法といえます。地下水も含む水（資源）に対する公共性（公益の概念）が導入されたといえます。

わが国の水行政システムは、明治時代から戦後、さらに高度成長期を経て縦割り化が進み、これまで相応の効果を発揮してきましたが、一方では総合行政として解決しなければならない問題が相対的に増えてきたことが同基本法成立の背景になっています。

佐賀低平地では「降れば冠水、晴れば干害」と言われ、雨がふれば速やかに排水され、晴天続きであれば水が必要とされ、相矛盾する水管理、すなわち治水、利水さらには水環境に至るまで総合的水管理が必要とされます。他方、個別の法律（や組み合わせ）による解決は困難な地域です。

今回の水循環基本法が、わが国の水行政の総合化に向けたターニングポイントとなることを期待します。

（元佐賀大学教授・古賀憲一）

第9回 低平地に関する国際シンポジウム

ISLT2014のご案内

9月29日～10月1日の日程で、ISLT2014が開催されます。世界各国から研究者が集まり、低平地に関する研究成果の発表が行われます。

9月29日の三浦レクチャーでは、Frans H. M. Van de Ven 博士による講演が行われます。本講演に限り、逐次通訳が行われますので、会員の皆様のご参加をお待ちしています。

日時：9月29日(月) 10:00～11:00

場所：佐賀大学工学部6号館1階都市大講義室

参加費：無料

低平地研究No. 23の発行

低平地研究 No. 23が8月に発行されました。今号の特集では、「有明海と筑後川の自然環境と社会生活」というテーマで記事がまとめられています。また、低平地沿岸海域研究センターで行われている最新の研究成果も掲載されています。

本誌には特別会員が執筆された論文や解説、資料なども掲載されますので、ご寄稿をお待ちしています。



会員 特別会員

動向 前田工織株式会社

弊社は、土木資材の供給を通じた「国土のインフラづくり」の理念に基づいて、“社会のあるべき姿”の実現に寄与してまいりました。

佐賀地方においては、有明海沿岸部の軟弱な粘性土が厚く堆積した軟弱地盤地帯を通る「有明海沿岸道路」の整備が進行中であり、ジオテキスタイルを用いた補強土擁壁工法の活用により交通基盤整備に貢献させていただいています。これからも社会から寄せられる高度なニーズにお応えしていけるよう努めてまいります。



補強土擁壁工法施工状況
(有明海沿岸道路)

低平地研究会活動内容・日程の案内

◆ 木材活用に関する国際シンポジウム ISWU2014 ◆

～地球環境保全のために木材資源を

いかに活用するか～

日時：10月2日(木) 10:00～17:00

場所：アバンセ

◆ 国際地盤工学会・アジア地区技術委員会・国際ワークショップ ◆

日時：10月3日(金)

場所：佐賀大学

◆ 水専門部会 部会活動 ◆

日時：10月(予定)

内容：水関連施設の見学

◆ 第2回月例勉強会 ◆

日時：10月24日(金) 15:00～16:30

場所：佐賀県自治会館4F 大会議室

◆ 歴史専門部会 部会活動 ◆

日時：11月23日(予定)

※予定の詳細が決定次第、メールなどで広報します。

編集後記

8月は雨が多かったです。気象庁のデータによれば降水量は671mm。佐賀駅周辺も水没してしまうほどの強い雨も降りました。佐賀の8月の降水量としては最多になるかもしれません。

編集担当：三島、江頭、日野(佐大:sk9822@cc.saga-u.ac.jp)